

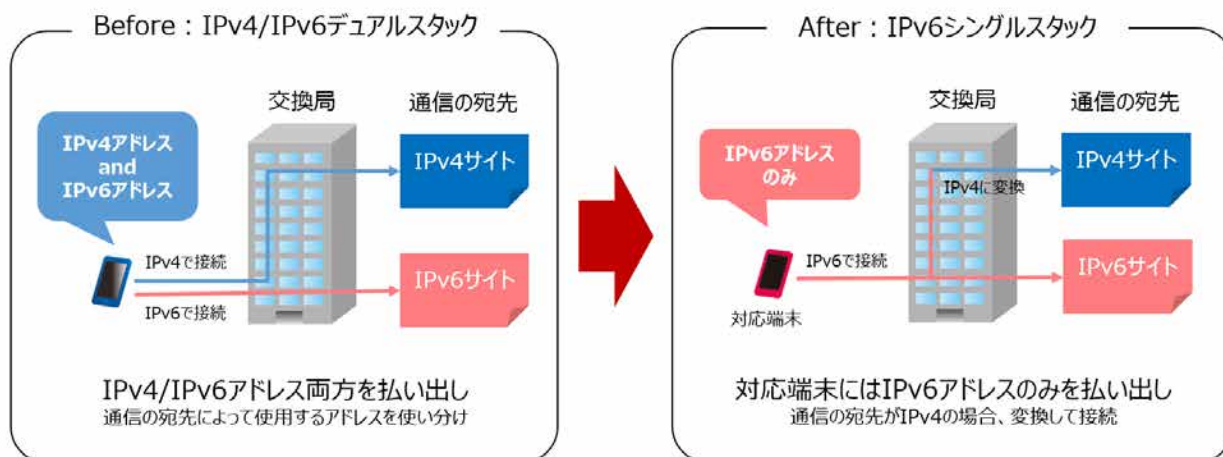
IPv6 シングルスタック方式の導入に向けて接続試験環境の提供を開始 ～IPv4 アドレス枯渇問題に向けた取り組み～

株式会社 NTT ドコモ(以下ドコモ)は、IPv4 アドレスの後継となる IPv6 アドレスの普及に向けて、ドコモの端末に IPv6 アドレスのみを割り当てる「IPv6 シングルスタック方式」を 2022 年春から導入します。これに先駆け、アプリケーション・コンテンツ開発者向けに動作確認のための試験環境を提供します。期間は 2021 年 7 月 1 日(木)から 12 月初旬までを予定しています。

IP アドレスはインターネット上で端末を識別するために割り当てられている住所のようなものです。昨今、IoT 機器の増加や 5G の普及に伴いインターネットに接続する機器数が増加しており、IP アドレスの需要は高まっています。しかし、従来規格の IPv4 アドレスは世界的に不足しています。

IPv4 アドレス枯渇問題を解決するために、ドコモではお客さまの端末に IPv6 アドレスのみを割り当てる方式である「IPv6 シングルスタック方式」を導入します。IPv6 アドレスは膨大な数を割り当てることができ、不足の心配はありません。「IPv6 シングルスタック方式」の導入により、今後のネットワーク接続端末数の増加に対応することが可能です。また、日本の移動体通信インフラの IPv6 化の促進に貢献してまいります。

<IPv6シングルスタック 接続イメージ>



現在、お客さまの端末には IPv4 アドレスと IPv6 アドレスの双方を割り当てていますが (IPv4/IPv6 デュアルスタック)、導入後は対応端末に IPv6 アドレスのみを割り当てます。

※お客さまの通信には影響がなく、これまでどおりご利用いただける予定です。

※本方式の導入に伴うお客さまによる設定変更や申し込みは不要です。

ドコモでは、AR や VR を活用したワークスタイル革新や 5G による新たなエンタメ体験の提供などの価値創造を進めております。これにより多くの通信機器が登場しています。ドコモは、「IPv6 シングルスタック方式」を導入し、新たに多くの通信機器への対応を実現することで、今後の IoT・5G 社会のさらなる発展に貢献してまいります。

アプリケーション・コンテンツ開発者向けの接続試験の詳細については、IPv6 シングルスタック接続試験詳細ページ (https://www.nttdocomo.co.jp/service/developer/smart_phone/etc/v6ft/index.html) からご確認ください。

本件に関するお問い合わせ先
株式会社 NTT ドコモ サービスデザイン部 Mail : ipv6ssft-help-ml@nttdocomo.com